

2025 年 9 月 4 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

「O K B 景況指数」 2025 年 9 月期調査報告

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 小川 真二）は、3 カ月ごとに「O K B 景況指数」を公表しております。このたび、2025 年 9 月期調査報告を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

景気の水準	景気全般は▲11.0（前回比+1.6）と前回調査から小幅に上昇。現状においてトランプ関税の生産活動への影響は限定的。
景気の方角	3 カ月後の景気は悪化を予想。企業収益を中心に全ての項目で減少を見込む。
追加調査	「トランプ関税政策による影響」として、『企業の警戒感が高まっている』と答えた支店長は 66.3%。『輸出減への懸念が高まっている』は 49.4%、『調達・物流の不安が課題となりつつある』の回答は 60.3%にのぼった。支店長の 78.3%が、今後のトランプ関税政策による地域経済への影響を懸念している。一方、具体的な相談や動きは限定的な状況にある。

O K B 景況指数 とは・・・

O K B 大垣共立銀行の支店長を対象に 3 カ月ごとに調査を実施
東海 3 県にある O K B 大垣共立銀行の支店長を調査対象 としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を 総合的に 捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。
県域より狭い地域の景気の水準と方向を集計
「名古屋」、「西尾張」、「西濃」など、 県域より狭い地域の景気水準を表す指標 を公表している。 (注) 東海 3 県の当該県域全体を対象としない(O K B 大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 中澤・梅木 TEL: 0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

OKB景況指数（2025年9月期調査報告）

調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長および法人営業部担当者（105名）
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方
- (3) 調査方法 2025年8月上旬に調査票を配付し、8月下旬までに回収

調査結果

景気的水準： 景気全般は▲11.0（前回比+1.6）と前回調査から小幅に上昇。現状においてトランプ関税の生産活動への影響は限定的。

景気の方

	景気的水準(2025年9月期)	景気の方(3ヵ月後見通し)
全地域	・景気全般は▲11.0（前回比+1.6）と前回調査から小幅に上昇。 （支店長コメント） トランプ関税の影響は現時点で中小企業には及んでいないものの、大手企業では減益予想が続いており今後厳しい影響が続くことが予想される。特に東海地方は直接的なダメージも考えられるため厳しい。一方、製造業の生産量は落ち込んでいるわけでもない状況。	・▲8.2と「悪化」超
県別	・愛知県は▲7.1（前回比+5.5）と前回から上昇。 岐阜県は▲12.8（同▲1.5）と前回から小幅に低下。 （支店長コメント） ・愛知県では、自動車関連はトランプ関税の影響等で不透明感が強く、受注が見通せず。家族構成により支出が多くなる年齢層の賃上げが物価上昇に間に合っていない。一方、若者は収入増加となっているが消費には回らず、投資や貯蓄へと向かっており、個人消費に直結していない。 ・岐阜県では、物価高騰の影響が大きく、価格転嫁による収益改善、向上が課題。電子部品、機械、情報関連産業においてはトランプ大統領の政策に間接的に影響を受ける企業も多いが、中長期的な目線では成長期待もあり。大型設備投資等については先行き不安から見送る企業が多い。	・愛知県は▲5.7と「悪化」超 ・岐阜県は▲11.0と「悪化」超
地域別	・東尾張、名古屋など3地域で前回から上昇。一方、西濃、西尾張など3地域で前回から低下。 （支店長コメント） 【東尾張地域】 トランプ関税、為替動向の影響等依然注視は必要であるが、関税措置発表後も自動車関連企業中心に受注動向に変化はなく、企業業績は好調。将来的な受注減少懸念はあるものの、様子見ムード継続、現状程度の景気水準が続く。 【西濃地域】 業績の二極化が進んでおり、人件費や原材料価格の高止まりをうまく値上げでカバーできているかで明暗が分かれている。また、トランプ関税の影響や今後のトランプ大統領の言動や政策などがリスク要因となり、今後の業績に対し慎重な姿勢となっている企業が多く見受けられる。	・「良化」超 三河 ・「悪化」超 名古屋、東尾張、岐阜、西濃、東濃・可茂、飛騨・郡上
項目別	・「全地域」を項目別に見ると、設備投資を除く項目で前回から上昇。 （支店長コメント） 「個人消費」：コメをはじめ、あらゆる物価が高騰しており、個人消費は厳しい。新築住宅やそれに伴う土地分譲は販売低迷が継続しており、新築住宅から中古市場へ需要が流れている。 「生産活動」：現状、自動車関連の製造業において、受注量の大きな落込みは無い。但し、関税問題も方向性が見えてきたとはいえ、依然先行きの不透明感と、慢性的な人手不足から、積極的な増産予定は聞かない。 「設備投資」：景気の先行き不透明感から設備投資には慎重な姿勢。人手不足を背景に省人化等のIT関連投資には前向きな姿勢も見られる。 「企業収益」：円安、値上げ効果で総体的に増収増益。しかしながら、今後はトランプ関税、原材料高騰、人件費増加の影響で収益率は低下する可能性あり。 「雇用」：中小零細の雇用環境は非常に厳しく、外国人労働者に頼る現状。賃金の上昇・労働時間の問題がより雇用環境を厳しくしている。雇用状況に対応する省力化施策が進んでいないことも要因。	・「減少」超 「個人消費」、「生産活動」、「設備投資」、「企業収益」、「資金需要」 ・「不足」超 「雇用」

*（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方向）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

①「景気の水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。

②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方角」を示す指数。

各指数は、最高点が100、最低点が▲100となる。①「景気の水準」を表す「景気全般」の場合、右記の表の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウェイト調整を行った上で、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「景気全般」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」（2025年9月期）

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)	今期水準 (前回比)
名古屋	▲5.3 (+7.9) ↑	0.0 (+23.7) ↑	2.6 (+2.6) ↑	0.0 (+7.9) ↑	0.0 (+5.3) ↑	5.3 (+10.5) ↑	76.3 (+2.6) ↑
東尾張	1.9 (+11.5) ↑	5.8 (+9.6) ↑	5.8 (+7.7) ↑	▲5.8 (▲1.9) ↓	1.9 (+13.5) ↑	▲1.9 (+3.8) ↑	53.8 (+3.8) ↑
西尾張	▲10.7 (▲4.0) ↓	▲17.9 (▲1.2) ↓	▲7.1 (+12.9) ↑	▲17.9 (+28.8) ↑	▲3.6 (▲0.2) ↓	0.0 (+20.0) ↑	78.6 (+15.2) ↑
三河	▲27.3 (0.0) ⇐	▲27.3 (▲9.1) ↓	▲18.2 (▲18.2) ↓	▲36.4 (0.0) ⇐	▲27.3 (0.0) ⇐	9.1 (+27.3) ↑	59.1 (▲18.2) ↓
岐阜	▲10.0 (▲0.5) ↓	▲5.7 (+6.4) ↑	1.4 (▲2.6) ↓	2.9 (+6.9) ↑	2.9 (+9.6) ↑	5.7 (+21.9) ↑	68.6 (+7.8) ↑
西濃	▲19.6 (▲8.7) ↓	▲32.6 (+2.2) ↑	▲2.2 (0.0) ⇐	▲19.6 (▲10.9) ↓	▲17.4 (▲2.2) ↓	▲41.3 (▲15.2) ↓	58.7 (+2.2) ↑
東濃・可茂	▲17.5 (+5.0) ↑	▲12.5 (+5.0) ↑	▲17.5 (0.0) ⇐	▲27.5 (▲5.0) ↓	▲17.5 (+2.5) ↑	▲22.5 (+5.0) ↑	60.0 (+10.0) ↑
飛騨・郡上	25.0 (0.0) ⇐	▲25.0 (0.0) ⇐	▲25.0 (▲25.0) ↓	0.0 (▲25.0) ↓	25.0 (0.0) ⇐	▲25.0 (▲25.0) ↓	100.0 (+25.0) ↑
桑名・四日市	▲28.6 (0.0) ⇐	▲28.6 (▲7.1) ↓	0.0 (+28.6) ↑	▲42.9 (▲57.1) ↓	0.0 (0.0) ⇐	▲7.1 (+7.1) ↑	71.4 (+7.1) ↑
愛知県(4地域)	▲7.1 (+5.5) ↑	▲5.7 (+8.4) ↑	▲1.4 (+3.5) ↑	▲11.4 (+7.6) ↑	▲4.3 (+6.3) ↑	2.1 (+12.7) ↑	65.7 (+2.3) ↑
岐阜県(4地域)	▲12.8 (▲1.5) ↓	▲15.9 (+4.4) ↑	▲5.5 (▲2.5) ↓	▲11.0 (▲2.6) ↓	▲6.7 (+4.0) ↑	▲15.9 (+5.0) ↑	65.2 (+7.5) ↑
三重(1地域)	▲28.6 (0.0) ⇐	▲28.6 (▲7.1) ↓	0.0 (+28.6) ↑	▲42.9 (▲57.1) ↓	0.0 (0.0) ⇐	▲7.1 (+7.1) ↑	71.4 (+7.1) ↑
全地域	▲11.0 (+1.6) ↑	▲11.9 (+5.6) ↑	▲3.5 (+1.5) ↑	▲12.6 (▲0.5) ↓	▲5.3 (+4.8) ↑	▲7.5 (+8.5) ↑	65.7 (+5.2) ↑

(※1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。

各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(※2) () 内の前回比は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(※3) 雇用は「不足－過剰」で算出。プラスは「不足超」、マイナスは「過剰超」を示す。

図表2 OKB景況指数「景気の方角（3ヵ月後見通し）」（2025年12月期見通し）

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」－「悪化」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「増加」－「減少」	「不足」－「過剰」
名古屋	▲21.1 ↓	0.0 ⇐	▲15.8 ↓	10.5 ↑	▲5.3 ↓	▲15.8 ↓	15.8 ↑
東尾張	▲7.7 ↓	▲3.8 ↓	▲3.8 ↓	▲11.5 ↓	▲23.1 ↓	▲7.7 ↓	23.1 ↑
西尾張	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	14.3 ↑	14.3 ↑	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	14.3 ↑
三河	18.2 ↑	0.0 ⇐	▲36.4 ↓	▲18.2 ↓	▲36.4 ↓	18.2 ↑	54.5 ↑
岐阜	▲5.7 ↓	▲11.4 ↓	▲5.7 ↓	▲2.9 ↓	▲31.4 ↓	5.7 ↑	17.1 ↑
西濃	▲13.0 ↓	0.0 ⇐	▲13.0 ↓	▲8.7 ↓	▲30.4 ↓	▲4.3 ↓	▲4.3 ↓
東濃・可茂	▲10.0 ↓	▲10.0 ↓	▲10.0 ↓	0.0 ⇐	▲35.0 ↓	▲10.0 ↓	20.0 ↑
飛騨・郡上	▲50.0 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲50.0 ↓	0.0 ⇐	50.0 ↑
桑名・四日市	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	28.6 ↑
愛知県(4地域)	▲5.7 ↓	▲4.3 ↓	▲8.6 ↓	▲1.4 ↓	▲18.6 ↓	▲4.3 ↓	24.3 ↑
岐阜県(4地域)	▲11.0 ↓	▲7.3 ↓	▲8.5 ↓	▲3.7 ↓	▲32.9 ↓	▲1.2 ↓	13.4 ↑
三重(1地域)	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	0.0 ⇐	▲14.3 ↓	0.0 ⇐	28.6 ↑
全地域	▲8.2 ↓	▲6.3 ↓	▲8.2 ↓	▲2.5 ↓	▲25.8 ↓	▲2.5 ↓	18.9 ↑

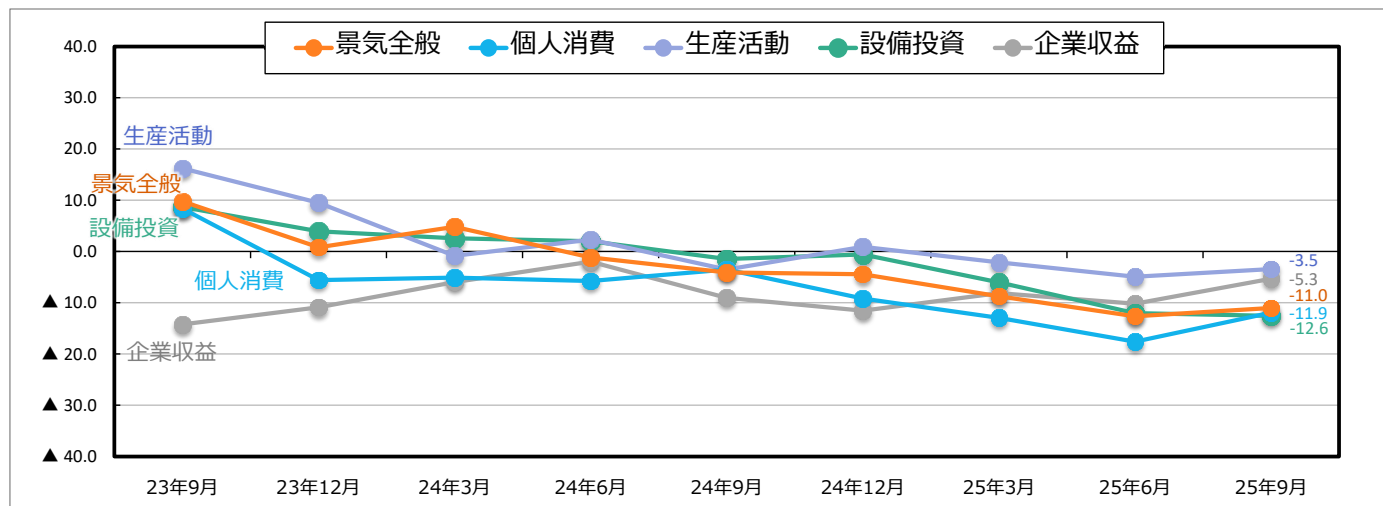
(※) 景気全般は、3ヵ月後は景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%)－「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後は今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%)－「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

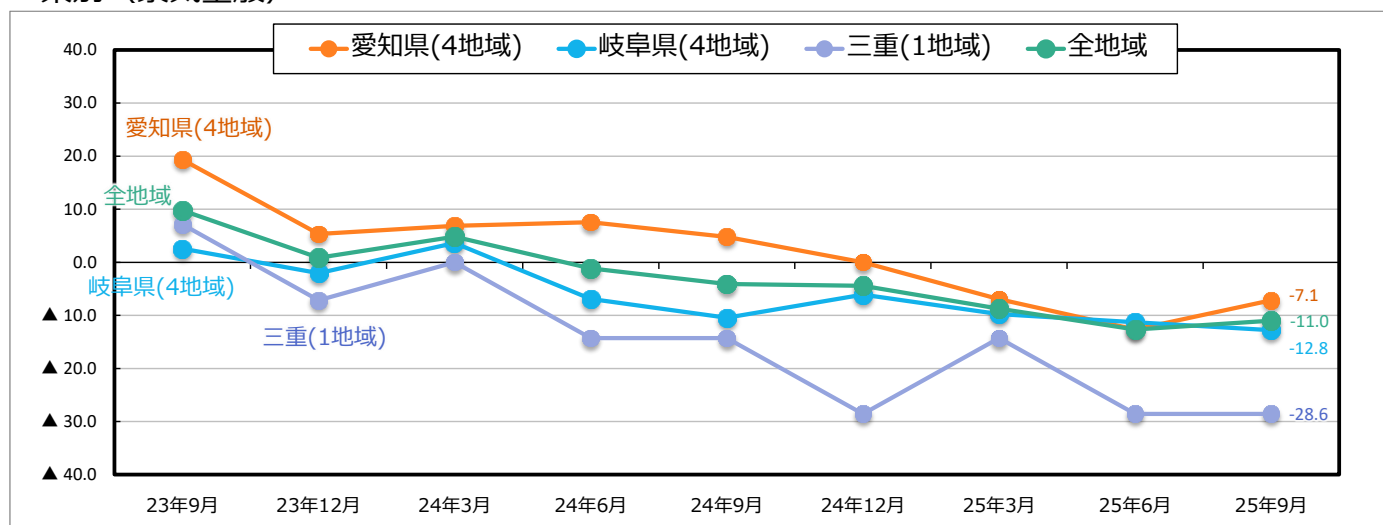
「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

「景気の水準」の推移

■項目別（資金需要、雇用を除く）

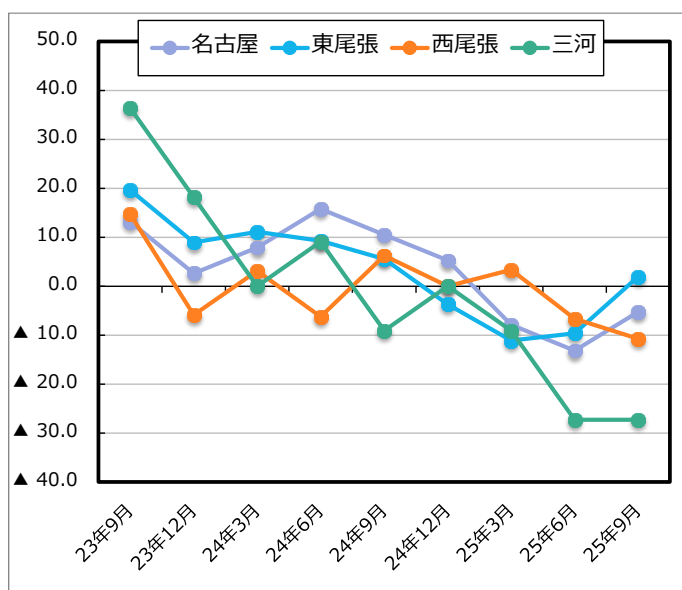


■県別（景気全般）

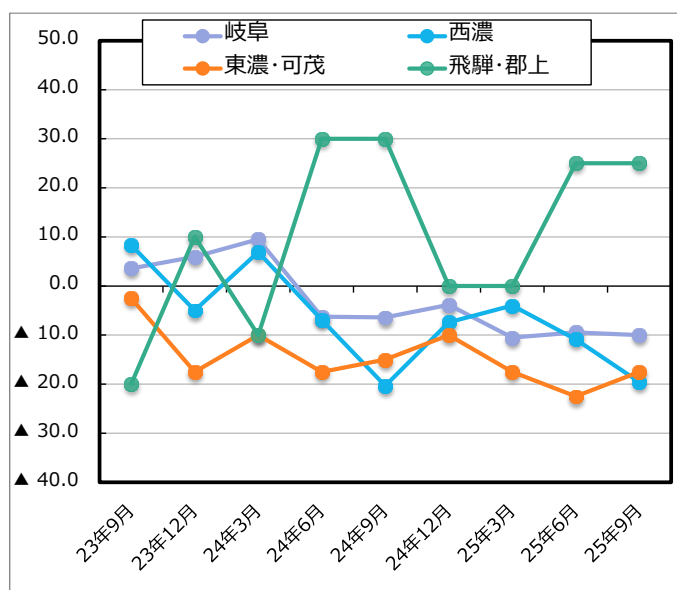


■地域別（景気全般）

①愛知県内



②岐阜県内



追加調査 1

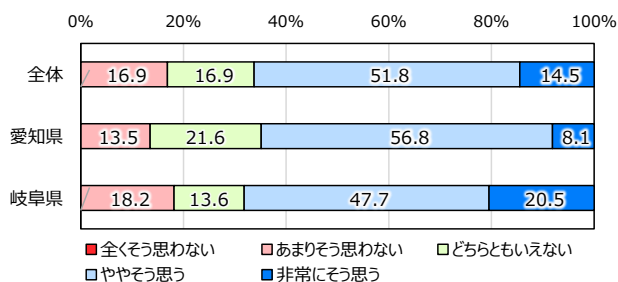
「トランプ関税政策の影響」

追加調査「トランプ関税政策の影響」では、6 月期調査に続き、各支店長に支店エリア内企業への影響について尋ねた。

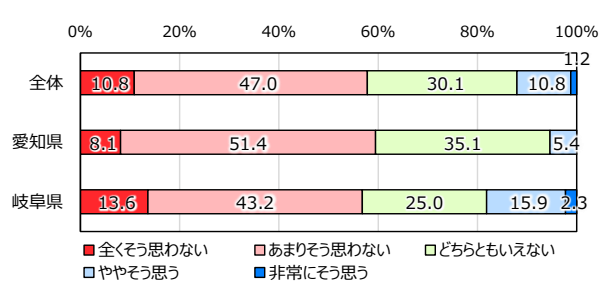
『企業の警戒感が高まっている』と答えた支店長は 66.3%（前回 81.0%）。『輸出減への懸念が高まっている』は 49.4%（同 53.6%）、『調達・物流の不安が課題となりつつある』の回答は 60.3%（同 65.5%）と、いずれも前回 6 月調査よりやや低下した。支店長の 78.3%（同 91.7%）が、今後のトランプ関税政策による地域経済への影響を懸念している。具体的な相談や動きは引き続き限定的な状況にある。

- ① 「トランプ関税政策に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている」については、「ややそう思う」51.8%、「非常にそう思う」14.5%で、合計は 66.3%と前回（8 割超）より低下した。岐阜県では「非常にそう思う」が 20.5%と、愛知県の 8.1%を上回っている。
- ② 「関税の影響を受ける業種から仕入価格や資金繰りの相談が増えている」については、「ややそう思う」10.8%、「非常にそう思う」1.2%と現時点での相談件数は限定的。47.0%が「あまりそう思わない」と回答しており、前回同様、相談件数の広がりは見られていない。
- ③ 「トランプ関税をきっかけに調達先見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている」については、「ややそう思う」が 13.3%にとどまり、「どちらともいえない」38.6%、「あまりそう思わない」43.4%と、顕著な動きは見られていない。
- ④ 「米国向け輸出製品の受注・売上減少への懸念が高まっている」については、「ややそう思う」39.8%、「非常にそう思う」9.6%で、約半数が懸念を抱いており、愛知県では「ややそう思う」45.9%、「非常にそう思う」13.5%と、岐阜県に比べ高くなっている。
- ⑤ 「米中貿易摩擦など国際情勢の変化により、調達コストや物流の不安が取引先企業の課題となりつつある」については、「ややそう思う」44.6%、「非常にそう思う」15.7%で、6 割が不安を抱えている。愛知県では「ややそう思う」54.1%、「非常にそう思う」21.6%とより高くなっている。
- ⑥ 「今後のトランプ関税政策や国際情勢の変化は、地域経済に影響する懸念がある」については、「ややそう思う」48.2%、「非常にそう思う」30.1%で、約 8 割が地域経済への影響を懸念。前回の 9 割超からやや低下したが依然として高水準。愛知県では「非常にそう思う」37.8%と強い懸念がつかえる。
- ⑦ 影響が想定される業種としては、「輸送用機械器具製造業」が 71.1%と突出している。ほか輸出依存度の高い製造業や海外取引の多い卸売業で影響が意識されている。愛知県は輸送用機械での割合が 89.2%と突出しており、岐阜県では金属製品が高くなっている。

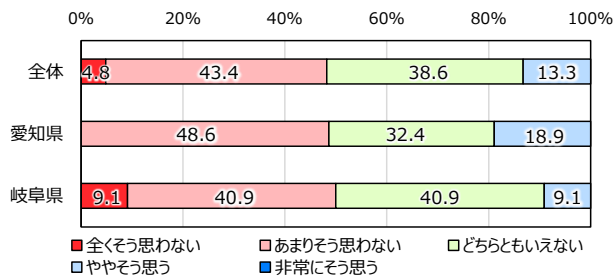
① トランプ関税政策に対し、取引先企業の間で警戒感が高まっている



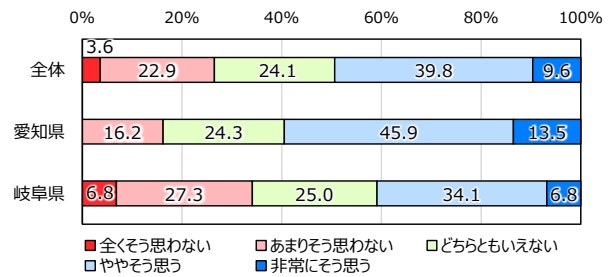
② 関税の影響を受ける業種から仕入価格や資金繰りの相談が増えている



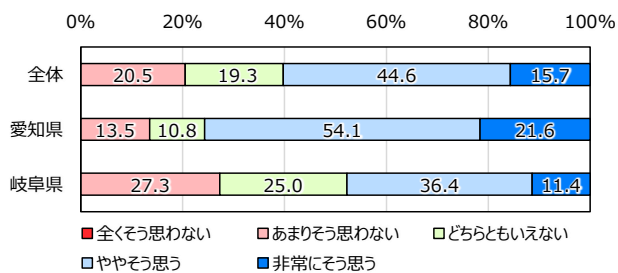
③ トランプ関税をきっかけに調達先見直しや経営戦略の再検討の動きが出てきている



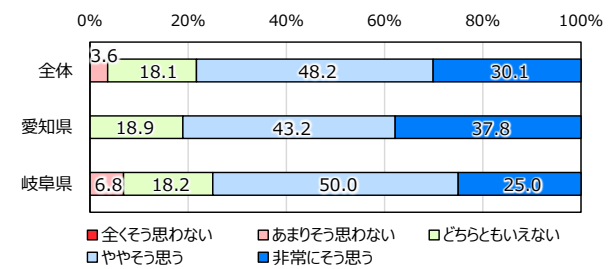
④ 米国向け輸出製品の受注・売上減少への懸念が高まっている



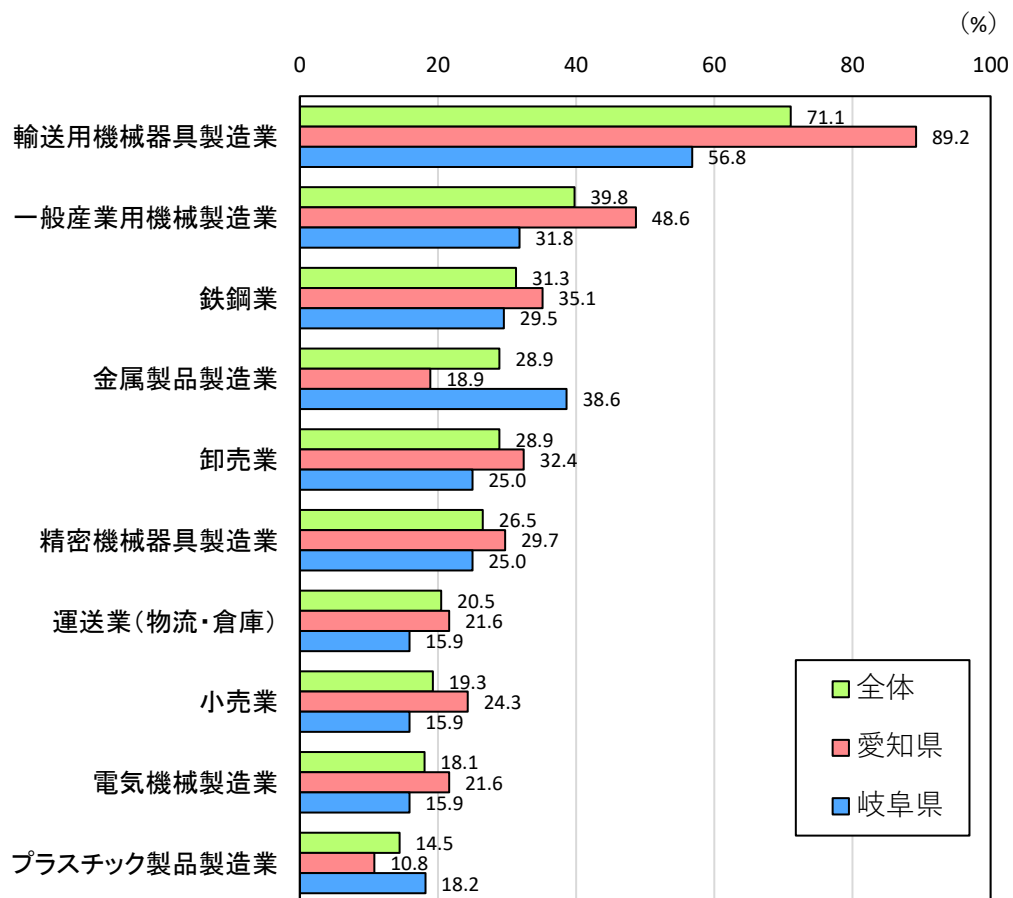
⑤ 米中貿易摩擦など国際情勢の変化により、調達コストや物流の不安が取引先企業の課題となりつつある



⑥ 今後のトランプ関税政策や国際情勢の変化は、地域経済に影響する懸念がある



⑦ エリア内で特にトランプ関税政策の影響を受けそうな業種（上位10業種）



追加調査 2

「2025 年 12 月末の米ドル為替相場・日経平均株価」

2025 年 12 月末の相場予想の平均は、米国の利下げおよび日銀の利上げにより日米金利差が縮小し、円高方向へ進むとの見方から、米ドル為替相場は 1 ドル = 143.64 円となった。
日経平均株価の予想平均は 41,818 円だった。

2025 年 12 月末の為替・株式の予想を尋ねたところ、米ドル為替相場の予想平均は 1 ドル = 143.64 円、日経平均株価の予想平均は 41,818 円だった。米ドル為替相場は、米国の利下げおよび日銀の利上げにより日米金利差が縮小し円高方向へ進むとの見方から、140 円超 145 円以下を予想する声が多い。日経平均株価は、主にトランプ関税の影響の不確実性を理由に、38,000 円超 45,000 円以下の範囲で予想がばらついている。

(円/ドル) 2025年12月末の米ドル為替相場

米ドル為替相場 (円/ドル)	割合
~160	1.0%
~155	5.7%
~150	15.2%
~145	50.5%
~140	23.8%
~135	1.9%
~130	1.9%

2025年12月末の米ドル為替相場 (円/ドル)

	全体	愛知	岐阜
平均値	143.64	143.36	143.78
最大値	160.00	155.00	160.00
最小値	130.00	130.00	130.00
最頻値	145.00	140.00	145.00
中央値	143.00	143.00	143.95

(ご参考) 2025年8月相場 (円/ドル)

月中高値	150.91
月中安値	146.19
月末時点	147.02

出所：LSEG

・予想コメント

円安要因 (一部抜粋)
・底堅い米国景気
・トランプ関税による米国のインフレ進行
・FRBの利下げ見送り
・参議院選挙後の国内政治情勢の不安定さ
円高要因 (一部抜粋)
・米国の利下げ観測の高まり
・日銀の利上げ観測の高まり
・日米金利差の縮小
・米国の景気減速

(円) 2025年12月末の日経平均株価

日経平均株価 (円)	割合
~48,000	1.0%
~47,000	0.0%
~46,000	1.0%
~45,000	13.3%
~44,000	15.2%
~43,000	14.3%
~42,000	13.3%
~41,000	13.3%
~40,000	13.3%
~39,000	10.5%
~38,000	4.8%

2025年12月末の日経平均株価 (円)

	全体	愛知	岐阜
平均値	41,818	41,796	41,756
最大値	48,000	48,000	45,000
最小値	37,800	38,000	37,800
最頻値	42,000	42,000	43,000
中央値	42,000	42,000	42,100

(ご参考) 2025年8月相場 (円)

月中高値	43,876.42
月中安値	39,850.52
月末時点	42,718.47

出所：LSEG

・予想コメント

上昇要因 (一部抜粋)
・トランプ関税による先行き不透明感の払拭
・米国の利下げ観測の高まり
・堅調な企業業績
・海外からの資金流入
下落要因 (一部抜粋)
・トランプ関税による企業収支悪化
・円高の進行
・日銀の利上げ観測の高まり
・米国の景気減速